

豊郷町隣保館だより

2022年9月22日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.222



日本語読み書き教室でお菓子づくり 「ブラジルのお菓子「ブリガデイロ」」

隣保館では、日本語を学びたいという人たちの想いを受けとめ、7月2日（土）から『日本語読み書き教室』をスタートしています。基本、毎週土曜日の午後2時から4時まで、地域振興室で日本語を学んでいたでいます。現在、外国にルーツのある子どもから大人まで、およそ10人の受講生と4名の講師さんが参加、読み書きを学びながら、お互いの近況を交流し合うなど、回を重ねるごとに笑顔で向き合う場面が多くなっています。

5回目の教室では、多文化料理教室としてチョコレートを使ったブラジルの「ブリガデイロ」というお菓子を作りました。国民的スイーツとして日常的に親しまれているこのお菓子は、練乳とチョコレートを混ぜた生地を丸め、トッピング用のチョコをまぶしたものです。教えていただいたのは、町内在住の波川エリザさんです。エリザさんは、ご自身にも馴染みのあるブリガデイロの作り方を丁寧に教えてくれました。

「わたし、つくったことあるよ!」と、中学生のエミリさんが上手に生地を丸めていく様子を見ながら他のみなさんも同じように作っていました。

技能実習生として豊郷病院に勤務しているロシカさんとシエルパさん（ネパール出身）のお二人は、チョコレートのお菓子に興味津々、「こんな甘いお菓子は生まれて初めて食べました」と楽しみに話してくれました。これからも、このつながりを大切に、お互いのアイデンティティを認め合いながら、それぞれのルーツを誇れる場にできればと考えています。